

TAKE PATIENT OFFICE

6TH FLOOR, KASHIWAYA BUILDING
6-13, NISHI-SHINBASHI 1-CHOME, MINATO-KU
TOKYO 105-0003, JAPAN

TELEPHONE 81-3-3591-8550
FAX GV 81-3-3591-8570

E-mail address: ~~E-mail address: sato@take-pat.com~~
sato@take-pat.com

November 17, 2004

PCT Operations Department
INTERNATIONAL BUREAU OF WIPO
34 chemin des Colombettes
1211 Geneva 20
Switzerland

VIA FACSIMILE AND EMS

(4 pages in total)

Amendment of the claims under Article 19 (1) (Rule 46)

International Application No.: PCT/JP2004/010778

International Filing Date: 22, 07, 2004

Applicant : Babcock-Hitachi Kabushiki Kaisha

4-1, Hamamatsucho 2-chome, Minato-ku,
Tokyo, 105-6107 Japan

Telephone No.: + 81 3 5400 2418

Agent: Kenjiro TAKE, Ichiro SUZUKI

Kashiwaya Bldg., 6-13, Nishishinbashi 1-chome,
Minato-ku, Tokyo, 105-0003 Japan

Telephone No.: + 81 3 3591 8550

Applicant's File reference: BH-0401-PCT

Dear Sirs:

The applicants, who received the International Search Report relating to the above identified International Application transmitted on July 22, 2004, hereby file amendment under Article 19 (1) as in the attached sheets.

Claims 1, 2, 4 and 5 are amended as attached sheets and Claim 3 is canceled.

The applicants also file as attached herewith a brief statement explaining the amendment.

Very truly yours,

鈴木 市郎

Ichiro SUZUKI

(Patent Attorney)

Enclosures: (1) Amendment under Article 19 (1)
(2) Brief Statement

請 求 の 範 囲

1. (補正後) 複数の上部壁からの流体を天井壁入口管寄を通して天井壁に導入するボイラ装置において、

- 5 前記複数の上部壁と天井壁入口管寄との間に天井壁入口混合管寄を設け、

その天井壁入口混合管寄は途中に屈曲部を有し、その天井壁入口混合管寄の一方の端部近くに混合管寄入口連絡管を介して前記上部壁を接続し、前記天井壁入口混合管寄の他方の端部近くに混合管寄
10 出口連絡管を介して前記天井壁入口管寄を接続したことを特徴とするボイラ装置。

2. (補正後) 請求の範囲 1 記載のボイラ装置において、前記天井壁入口混合管寄の一方の端部近くに、前記各混合管寄入口連絡管と接続される各孔がほぼ同一直線上に形成されていることを特徴とする
15 ボイラ装置。

3. (削除)

4. (補正後) 請求の範囲 1 記載のボイラ装置において、前記天井壁入口混合管寄が L 字形に屈曲されていることを特徴とするボイラ装置。

- 20 5. (補正後) 請求の範囲 1 記載のボイラ装置において、前記天井壁入口混合管寄が火炉幅方向のほぼ中郷部に設置され、前記混合管寄出口連絡管が天井壁入口出口連絡管が天井壁入口管寄を中心にしてほぼ左右対称に配置されていることを特徴とするボイラ装置。

25

30

条約第 19 条 (1) に基づく説明書

(1) . 請求の範囲 1 項では、天井壁入口混合管寄が途中に屈曲部を有し、その天井壁入口混合管寄の一方の端部近くに、混合管寄入口連絡管を介して上部壁が接続され、前記天井壁入口混合管寄の他方の端部近くに、混合管寄出口連絡管を介して天井壁入口管寄が接続されていることを明確にしました。

各引例のいずれにも、天井壁入口混合管寄の途中に屈曲部を設け、その天井壁入口混合管寄の一方の端部近くに混合管寄入口連絡管を介して上部壁を接続し、前記天井壁入口混合管寄の他方の端部近くに混合管寄出口連絡管を介して天井壁入口管寄を接続することについては、一切記載されていません。

(2) . 請求の範囲 2 項では、天井壁入口混合管寄の一方の端部近くに、各混合管寄入口連絡管と接続される各孔がほぼ同一直線上に形成されていることを明確にしました。

各引例のいずれにも、このようなことについては、一切記載されていません。

(3) . 請求の範囲 4 項は、従属関係を補正しました。

(4) . 混合管寄出口連絡管の説明を請求の範囲 1 項で述べましたので、請求の範囲 5 項では混合管寄出口連絡管の説明を省略しました。